

假字考

下卷

W52-2

O 38

2

ヤ マ グ チ = ブ ン コ
 =====
 コ ノ 赤 ワ, コ ッ ベ シ ノ
 ヤ マ グ チ セ イ チ サ マ カ
 オ ナ ク ナ リ ノ ア ト, オ ク サ マ
 カ ラ カ ナ モ シ カ イ エ コ キ フ
 イ タ ダ イ タ ミ ノ テ ア リ マ ス.



氏
 寄
 贈

58018

○奈之部

不
幸

中子子

已上
秋菽

たのたのたの

已上
古今

假字考卷之下

岡田真澄著

○ な

○
十

○
な
ハ
奈

正韻
尼帶

切並音姣

かゝる如く

一 來禮了 寺也

○
ち

南

之音也
唐韻
集韻
韻會
正韻
並那含切音男

之吳音也與柰同字唐韻
集韻乃帶切韻會乃代切

奈奈奈奈

ふふふふ

ある已上古今

○南已上古今

○那

らららら

ふ已上れ秋萩

○那

南 南

のゝみめく 轉をり

ふなハ奈 南あるより金長え

懐春海皆 同説也古人上のきり

の勢より 多に松よりきり

ふたより くれを偽字類聚に記さる

ハ 那 之吳音也 唐韻 廣韻 諾何

切 集韻 韻會 囊何切 正韻

如何切

並音難

那 那 那 那

外 外

のゝのゝのゝ 轉をり

○十

○真澄按二万葉假字遣万葉色葉白

石谷川土青皐元澄皆奈ノ省文ト

れれれれ

已上
古今

○仁之部

にににに

已上
古今
にににに

○余と小余

○
よ

ハ
余

之吳音也與爾同唐韻見
氏切集韻韻會忍氏切並

○
に

ハ
仁

之吳音也唐韻如鄰切集
韻韻會正韻而鄰切並音

人
仁

に
かゝのめく
將多れり

○
二

○
に

アリ

石谷川士清澤元愷皆奈ノ省文ト
ス貝原ハ南ノ頭トスイツレモ理

○丹

○み

ハ丹

之訓也唐韻都寒切集韻
韻會多寒切正韻都艱切

並音單○和名抄
云越前國丹生不爾

丹 丹

字彙
明也

○澤元愷云丹之為み取物名

○

二

ハ

二

之全文吳音也唐韻集韻
韻會正韻並而至切音械

○真澄按二白石貝原契冲文雄並二

二ノ全字トセルソヨキ然二契冲

力或仁半體欵ト云伊呂波字考錄

二寺嶋翁ハ仁ノ字ヲ取ト云谷川

○奴之部

奴 奴 奴 奴

奴 已上
秋菰 奴 奴 奴

士清ハ二全體或仁省文ト云ル二

從テ澤元愷力仁字傍ト云ルハ誤

也片假字ニ毛全字ノ交レル事ハ

前ニ云リ

○ 奴

○ 又

○ 奴

ハ

奴

之吳音也唐韻乃都切集韻韻會正韻農都切並音

努

奴

奴

將一ハル
了ル也

○ 旁

ハ

旁

之吳音也

唐韻

正韻

奴古

秋萩

努

奴

ぬ

將ぬる

すぬ也

ね ね
已上
古今

○努
ぬ
秋萩

○怒

○努
ハ

努
之吳音也
唐韻正韻
奴古切
集韻韻會
暖五切並音

努
ハ
之吳音也
唐韻正韻
奴故切並奴

○ぬ
ハ

怒
之吳音也
唐韻正韻
奴故切並奴

去聲
怒
ぬ
かく將

○
是漢梅るる澤元愷努草轉為ぬ不

必取怒と云ふ古書をよく考ぬ

古事記日本紀等と

始る所もいふ所ある文字

○祢之部

祢 祢 祢

已上 秋菽 祢 祢 祢

已上 祢 祢 祢 已上 哀

○年 年 年

○又

ハ 奴 之省 父也

るをや

○子 子 子

○ね

ハ 祢 之吳音也與禰同字 廣韻 奴禮切 集韻 韻會 乃禮切

正韻 乃里 切並音瀾

祢 祢 祢 祢 祢

ハ ね かくのへてく 轉 來社

○

ハ 年

之音也 唐韻 廣韻 奴顛切 集韻 類篇 韻會 寧顛切 正

年

○ 子 年

之音也 唐韻 廣韻 如真切 正
集韻 類篇 韻會 寧顛切 正

下ノ五

年

已上
秋
今
古
子
重
百

○

子

ハ 子

韻寧田切
並撚平聲

年

かゝ 年

之全父訓也 唐韻 卽里切
集韻 韻會 正韻 祖似切 並

音梓 ○十二支中訓
之 ○又古抄本ニ
ノ省父也 同父通考ニト
部家ニ傳ヘレ 經點ニハ
云リ又予友清水濱臣上京時東寺
ノ觀智院藏類聚名義抄ヲ見テ寫
末ニ片假字
ノ十力ニ
尔 トモ
アリ 祢 ノ畧
父也

○

真澄按ニ白石契冲全長父雄谷川

士清並二十二支ノ中ノ子ヲ訓ル

○乃之部

○の

力如ク全文十ル由云ルソヨキ片
假字ニ全文ノ交ル由ハ前ニ云
ツサテ澤元愷力或省季〔説文〕年本
作季音釋
前ノ年ノ作于今俗謬作支千之子
下ニ云リ
ト云レハ例ノ片假字ニ全字ヲ用
又ト云禎十、ル説ヨリ起テ世人
ヲ惑ハス也

乃乃乃

已上
秋菰

乃乃乃

乃乃乃

ののの
已上
古今

○能
乃乃乃

乃乃乃

○

○

の

ハ
乃

之吳音也唐韻奴亥切集韻韻會正韻囊亥切並柰

上
聲
乃

乃乃乃
乃乃乃

○

○
乃乃乃
乃乃乃

乃乃乃
乃乃乃

乃乃乃
乃乃乃

乃乃乃
乃乃乃

○

れ

ハ
能

之音也唐韻韻會正韻並奴登切音儻能

已上
秋菰
今古

廿 巳上
秋款

巳上
古今

○農

○ 卷

農

之音也 **唐韻**
並奴冬切 音儂 **集韻**

農

張

子

84

かゝる如く
轉來社司

袁宏

このくのちで
くづをる也

A circular stamp or seal, possibly a library or collection mark, located at the bottom center of the page. It consists of two concentric circles with some illegible text or a logo in the center.

1

乃

○古抄本

卜書
乃

也之省

A small, circular, double-lined stamp or seal, possibly a library or collection mark, located at the bottom center of the page.

真澄按二白石ノ毛乃毛共二肥

人書ニシテ藻字ノ乃ノ字ニ非又

ト云レハ前ニ云力如牽強十儿

ト云レハ
前ニ云力如牽強十八

可六

下ノ七

說也

○波之部

中々中々

しんしん

中々々々

一一一

支
已上
す
す

秋菰

ははははは

已上
古今

己上
古今

○ハ

○は

○は波

之音也 **唐韻** 博永切 **集韻**
韻會 **正韻** 逋永切 並音 播

波
波
波
は

この如
に

と書は

狂言

○
を
ハ
者

之訓也 **廣韻** 章也切 **集韻**
韻會 **正韻** 止野切並音楮

田タ為ス々々寸チ○万葉二者

考考考考

とか

田タ為ス々々寸チ

○者 子

老 子

老 已上 秋菽

老 已上

老 已上 古今 重音

老 古今

○盤 子

子 子

○老 子

韻 韻會 正韻 子口切並奏上聲

○古書用于假字者未詳也

書 子

書 子

那 子

書 子

○ 子

之音也 唐韻 薄宦切 集韻 韻會 正韻 蒲宦切並畔平

聲

○
ハ

盤

之音也
唐韻薄官切
集韻蒲官切並呼平

ハ

ハ

ハ
已上
古今

○
ハ

聲

ハ

ハ

ハ
ハ
ハ

○

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

○

ハ

ハ

ハ

之音也
唐韻博拔切
集韻布拔切並音捌

下ノハ

ハハ

字彙
以也

ハハ

之全文也○真澄藏本ノ
古抄本今昔物語ニハ

ハ
ト書

○真澄按ニ片假字ニモ全字ノ有事

ハ前ニ云カ如シ白石契冲文雄共

ニハノ全文トス然ニ澤元愷カ契

冲ノ或半

唐韻集韻韻會並
博漫切般去聲

字ノ半

體欵ト云レヲ取テハ者半省為ハ

體歛ト云レヲ取テハ者半省為ハ

九之ハ者非是ト云テ強テ片假字

ニ全字十キ例トセルハ誤也既ニ

古抄本ニハハト書リ更ニ疑ヘ力

ラス

ハ

ヒ

比

並音
ヒ

以
ヒ

か
ヒ

之音也
廣韻
卑履切
集韻
韻會
補履切
正韻
補委切

○比之部

比
已上
秋菰
ヒ

い
ヒ

ひひひひひ

已上
古今

○飛 飛 飛 飛 飛
已上
重百

えええええ

已上
秋菰 重百

○悲 悲 悲 悲 悲

○ 飛 飛 飛 飛 飛

之音也 唐韻甫微切 集韻 韻會 匪微切 並音非

飛 飛 飛 飛 飛

かき ぎ

○ 悲 悲 悲 悲 悲

之音也 唐韻府眉切 集韻 韻會 正韻 通眉切 並音卑

悲 悲 悲 悲 悲

かき のめく ぎ

○ 比 比 比 比 比

之省 文也

○ 不 不 不 不 不

○ 不 不 不 不 不

○ 不 不 不 不 不

之音也 韻會 正韻 並通沒切 補入聲

不

○
ふ

不

之音也
並逋沒切補入聲

不

此

已上
秋萩

出出出

已上
古今

○不之部

已上
秋穀

𠂇
𠂇
𠂇
𠂇
已上古今

○
物

八
婦

之音也 **唐韻** 房九切 **集韻**
韻會 扶缶切 **正韻** 房缶切

阜並音
婦

かゝる
新し
れり

○ 多

布

之音也 唐韻 集韻 韻會
正韻並博故切音阜

布布

かゝる

𠂔𠂔𠂔𠂔𠂔
已上
重百

𠂔𠂔𠂔𠂔𠂔

𠂔
已上
古今

○婦

○布

𠂔𠂔𠂔𠂔𠂔

𠂔𠂔𠂔𠂔𠂔

○

フ

不

之省
文也

○

○

へ

○

○

へ

○

へ

○

へ

古人の書づと下へ連れる勢

るゝやうにづづるゝは

字を別は偽字歟

と云ふに論はおけり

と云ふは一への字はつつの

字と同一と古人稱へ論は

々々々々々々々々々々

冬令
明氣
子授
前作

市市
已上
秋款

已上
秋款

○へ之部

三三三三三

已上
秋款

已上
秋菰

◎同文通考云或八邊

集韻

韻會

正韻

並卑眠七切音編

ノ字ノ省ケル也ト云ヒ或ハ穴

古字

方別切

集韻

韻會

筆

別切

必列切

並韋便

入聲

一字

ノ省也ト云何レ力是ト云事ヲ知

又按二日本紀万葉等二多クハ邊

へつつつつ

已上
古今

○遍

○扁

ノ字ヲ用タリ但邊ノ字其點畫多
 クシテ省用ル処ノ畫極テ少ケレ
 ハ世人ノ疑十キニシモ非ス公ノ
 字ハ別ノ字ノ古字ニテ其畫少ク
 シテ省用ル処ヤ、相似タル也サ
 レト別ノ字ヲ用シ事ハ万葉ノ中
 ニ纔ニ見エテ其餘ノ書ニ見ル処
 ナシサレハ公ノ字ヲ省取ト云説

毛亦從匕
 難シ
 此說ハ片假字
 也

十レサレハ八ノ字ヲ省取ト云説

下ノ十二

毛亦從匕

難レ

此説ハ片假字ヲ論シタル也

○

契冲云へ

甫勿切音弗畧音保保與敝通用

此説ハあ

偽字一様ニ

論一ある歟

○

廣澤云皿

唐韻武永切 集韻 韻會 正韻 眉永切 明上聲

此ハ平偽字

を論キ一歟

○

伴呂波字考録云皿の草を皿とて

かくみめく書ミ本朝むく偽字と

皿の字とへの音ミ書ミ是誤と

下ノ十三

正字篇云へノ字或反ノ字トレ或

下ノ十三

ハ邊扁音釋下ノ字十ト、又似夕

ル処十レ此片假字ヲ論ス

○大觀抄云反ノ字ノ下ヲ取ニ非ス

或云和板ノ大智度論第二十五卷

以下ノ音釋ニ反ノ字ヲレニ作ル

処徃々コレアリ此說片假字ヲ論ス

○日本紀通證云邊省文或へ全體音

弗吳音畧相通此說片假字ヲ論ス

○澤元愷云嘗見小野道風書四草作

是其取末

此字平低
字或論片

是後梅るるに所世に流布する

更の道風の書と云ふ物其信用

一かゝる中より其秋葉帖を

と云ふ其物と思ふ所を去る

数枚有る一帖を以て難く以て

然るを予あるに本朝墨帖論に云

おるを予ある本朝墨帖記と云

書ニ委しく論おけり

○澤元愷又云へ即反省文此説片假字ヲ論ス

○春海之への字おるハ諸君の説的

當きやと云ゆる釋安四の字也と云

と當ぬるを古書ハ四字之残

假字ハ用ゐるを絶くせざるや反

之ハ省文といふハ片假字ハさへも下

佛書ハ何反と云ふ所へともて反

字を代へ書つるより方と釋文旋云り

中平假字れハ片のれより書れふ

物よきとてハ片のれより云字然

將しつる考ハハ片をれ早く

依理ハ新書なるの書れある物ハ

とあれ既なる古く書れたる物なる

ハ片あり
ハ片ハ平假字
を編ハハ片

○
ハ
遍

之音也與偏同廣韻比薦
切集韻韻會正韻卑見切

並編
平聲

通
通
通
通

か
の
め

○
屋

八
遍

之音也與徧同廣韻卑見切

下ノ十五

平聲 並編

通

通

廬

卷

かゝの如
く

○
扁

八

扁

之音也 **廣韻** **集韻** **韻會**
正韻 並補典切音遍

扁

明也



聖

又

抽



芝溪樓不_レ以文字考_一加々々白石

の魚類は又遍の字をいふれ

此の書本より母を子に与ふ

三市思心也

舳由切訓也唐韻直六切

韻會 仲六切並音逐○和名抄云舳
無名苑注云船前頭謂之舳藻語抄
舟頭制水処
也 和語云 閉 どもて舳れへちれえ

初より取くるまらむと思へるま

定ち人へみゆるま舳の字を用ゝ

みまゝと見當らばはくは文字と古

み人の書ふまゝく白河城にみゆ

まあはの人まゝと有る暇は後教

新玉にかれあれまぢへみゆる

みまゝよりみおののまゝゆる舳の

新王にがれあれをちへ新保

○保之部

保保

小衆より民おののへは住く舳の
字取あるの市れを神祖あを稿
来れるあを其考へある也且ん
と人む出まのぬるあをぬち
と書へくはへるあを

○ほ

○ホ

○ほ

ハ
保

之音也
抱切
正韻
補道切
並音實

廣韻
集韻
韻會
補

何何何何

○
亦

聲
本
本
本
本
のく
来社

ハ
保
古抄本二
之省文也
了
卜書夕儿
毛一夕

保
家ノ省文也
同文通考ニ管
甲

ト書タルハ
考ヘカラス
早
キノ誤ニ
欽又予友清
水

濱臣上京シテ東寺ノ觀智院藏類聚名義抄ヨリ書拔来リシ中ニ

いーいー

濱臣上京シテ東寺ノ觀智院藏類聚名義抄ヨリ書拔来リシ中二

已上古今

○本

已上喜

○末之部

末末末

末末末

○

小ル保ノ省文也

○

ま

○

ハ

○

ま

ハ末

之吳音也唐韻集韻莫撥切韻會莫曷切正韻莫葛

切並瞞入聲

末末

かゝみぬく

ま 書を古人に書とよく

れ あやち 一かゝる

書とよく文となり又

○

ハ

萬

之音也唐韻無販切音蔓

萬 萬



万部 已上 秋菰

万部

万部

万部

万部 已上 古今

万部

万部 已上 秋菰

万

あり

万

也與萬 同字

万

かき書 万部

万

満

之音也 唐韻 正韻 莫早 切 集韻 母伴切 並音邁

満

満

のめく 満

満

と松よ書を上より連れる勢 満

満

万

末

之省文也 又古人

下

ト書

万

下ノ十八

之省文也 同文通考ニ菅家ノ點図

下ノ十八

4

八言
万

みみみみ

みみみみ

みみみみ

みみみ 上
古

美々々

美々々

ハ美

のきやゆゑる
美の正字也

○

美漢梅は美美美美とて皆美の

體よゆ美みみとてハ皆美の

體よゆ美みみとてハ皆美の

同字のく偽字を以説文美のを

ふ从羊从大註羊大則美故从大

又五經文字从犬从火者偽とて

社と和傳は古より美と書く

社系源流は古より義と書

已上
秋菰

已上
古今

○三

社系二様より社系なるを志

ハ

○三

ハ

之訓也唐韻集韻韻會蘇
甘切正韻蘇監切並颯平

聲○和名抄云祝尚丘
曰峯敷容反和名祿三
人の書訓訓に云く似て社を

ハ
三
之全文也
古抄本三
ト書リ又

○三

ア

ト書見
ルハ

訓也唐韻廣韻古甸
切集韻類篇韻會正

韻經電切並堅去聲○和名抄云駿
河國有度郡掌見奈女ノ草書ノ體

凡

ヨリ省来
レルナリ

○

和字正濫抄云三全欵或身訓也唐

切集韻

韻會

正韻

升人

切並

音申

○

万葉十六

身女児

乃眉

又日

本紀

竟

○

宴歌千倍野

肆羅奈身

○

○

伊呂波字考錄云万葉色葉二八美

ノ字ヲ取トニ纂卜書

○

日本紀通證云美省文吳音又作尸

混阿蓋彌省文吳音

○澤元愷云取笑中之三畫也為三字
之讀者已非省不可從也或取見之
三畫亦通

真澄按二是毛片假字ノ中ニ全
字無由ヲ強テ立ル僻論也三ノ
全字トスル説ソ穩ナル白石毛
三ノ全字トシタリ古抄本三ト
正ク書タルニテ明ナリ

○真澄按ニ大觀抄ニミヲ尸ニ作ル

民唐韻集韻韻會正ノ字ヲ省ケリ

韻並彌鄰切音泯

ト云レハ古抄本ノアヲ尸ト見誤

テノ僻論ナラム澤元愷モ既誤テ

此説ヲ取レリ古抄本アトハアハ

子ク書タレト尸ト書タルハ更ニ

ナレ谷川士清カ彌ノ省ト云レモ

痛キ誤ニテアハ見ノ草體ヨリ来

痛キ誤ニテアハ見ノ草體ヨリ来

○武之部

む 武之部

む 武之部

む 武之部

已上
古今

○無

下ノ二十一

ル由ハ前ニ論エル力如シ

○む

○ム

○む

ハ 武

之呉音也唐韻文甫切集韻會罔甫切並音舞

む 武

かくの如く
と書

ハ上より連れる勢
ハ急なるより

ハ下より連れる勢
ハ急なるより

依字格と云

書に記さる

○む

ハ 無

之呉音也唐韻武扶切廣韻武夫切集韻正韻

已上
秋萩

今古

○舞

辛
 己上
 重百
 布

已上
古今

○无

○ 奔

舞

之吳音也
唐韻
父甫切
集韻會
罔甫切
正韻
罔古

音武並切

莽
莽
莽

かく
かゝ
せり
る

友
書少

○
h

无

之吳音也 **唐韻**
武夫切音巫

无无

三
又
人

のや
とと
うう
へ
毛

少く書くと云ふは、
又予の偽字歟。爾より

予の偽字歟爾はよく記さる

ん ん
ん ん
ん ん

已上
古今

○ 志澄梅は此本字を稱文雄を海

元懐の元子なるやと一戸に

よる白石のんを枕字の意取

とへる社をいふをばう

説ちる年音釋下なるむと思はる

社を子能水通ひをいふや



ム 八年

謀

之省文吳音也唐韻莫浮切集韻韻會迷浮切並音

○ン

○同文通考云ン梵字ノンニ取也梵
書ヲ案ルニ、是ヲ空點トス四點
トモ云一是ヲ仰月トモ半月空ト
モ云又莊嚴ノ點トモ云リ其法取
謂空点ノ音ヲナス字ニハ此点ヲ
加ル也空点ノ音トハ俗ニハ又ル
ト云音也

ト云音也

○大觀抄云ニハ无ノ字

○日本紀通證云語末年韻清揚者用

ニ字出梵字字勾點

○澤元愷云頗似梵字之空點云云

○真澄按ニ梵字ト云說如何ニモム

○ツカレクニテ疑ハレケレトモ无

○ノ省ト云ヨリハ近ニ猶後人ノ說

○ヲ待ノ三又予考置之本朝書話ニ

○古今

古今

並彌笑 字之草作め為正多為女字
切音廟

下ノ二十四

亦唯草部不取訓讀之例相乘不可
從也といふを春海端々古書
は妙の字を偽言は用ゐる此ハ
端々なきもやめの偽言は女の子
哉用ゐるもやめを女ハ女の
字を端々は又は端々は云々
白石り世々毎
韻莫賄切 の字面
並音澹
唐韻 集韻 韻會 母罪切 正
武罪切

字也と云え誤ちるべし一云云禮つ
廣源を妙の字を出さゆ又金長
云一も等信を女の字又を妙の字
ちやと云え信く思ふは亦を春満
の字と云く妙の字をぬり信
まはるべし信く思ふは亦を春満
女の字と云く信く思ふは亦を春満
信く思ふは亦を春満

卷之四

きののゆく

ももめり

已上

古今

ももえり 已上 秋萩

ももえり

ももえり 已上 古今

ももえり 秋萩

ももえり

ももえり とつ

ももえり よめ

ももえり あか

ももえり の字

ももえり 又

ももえり 下へ

○ 上代の

かき えり

えり き

えり 考

みづけり考へるは皆毛の字を

んんんん

んんんん

んんんん

んんんん

んん 巳上
古今

○裳 出衣

出衣 巳上
秋款
古今

小衣きくく金く无の字をみあふ
 くらふ衣し物と云ふくくはく思
 〓 〓
 にかき无を毛は通し用ふるふハ
 〓 〓
 何くぬの衣類なるむし通はり用
 〓 〓
 あるふくまき萬葉を五は多布刀
 伎呂可儻キロカマといふは延喜の以はハ多
 〓 〓
 くらふて新振萬葉は仇牟幡サモハタ似缶鉈
 〓 〓
 と見ゆるを始く年を毛は用ふる

かろろろろ 已上 重百

○母 母 母

已上 秋菰 百

○ まゑ

ハ 裳

之訓也唐韻市羊切集韻
韻會辰羊切正韻陳羊切

あも四所んゝ竟宴歌 中勢に定る
ハ 無止女依利世波 ハ
ハ 礼留見え ハ 書社 ハ あり ハ され
ハ 元と通用 ハ 成 ハ 一 ハ きと
ハ 及 ハ あり ハ あり ハ け ハ け
ハ え ハ 書 ハ あり ハ あり ハ あり

並音常 ○ 和名抄云

○ 𠂔 裳

之訓也唐韻市年切正韻陳羊切

○ 𠂔

𠂔 𠂔

𠂔 𠂔 𠂔 𠂔

𠂔 𠂔 𠂔 𠂔

○ 也之部

𠂔 𠂔 𠂔 𠂔

○ 母

○ 𠂔

○ 𠂔

○ 𠂔

○ 𠂔

○ 𠂔

並音常○和名抄云下曰裳音常和名毛

裳 裳 裳

𠂔 母

之吳音也唐韻武扶切集韻會正韻微夫切並音

無 母

子聲

𠂔 毛

之省文也

𠂔

𠂔

𠂔 也

之音也唐韻羊者切集韻會正韻以者切並音野

已上
秋萩

や や や や

や や や や

已上
古令 重
や や

秋萩

○屋

也 や や かゝのぬゝ

や や

○屋 ハ 屋 之訓也唐韻集韻韻會正

抄云屋鳥谷反 舍也和名夜 屋 屋 和名

○ヤ ハ 也 之省 文也

○伊呂波字考録云万葉色葉二也ト

有リ

○真澄按ニヤハ也ノヤト草體ニナ

◎真澄按ニヤハ也ノヤト草體二十

下二十八

○由之部

由 𠂔 𠂕 𠂖 𠂗 𠂘 𠂙 𠂚 𠂛 𠂜 𠂝 𠂞 𠂟 𠂠 𠂡 𠂢 𠂣 𠂤 𠂥 𠂦 𠂧 𠂨 𠂩 𠂪 𠂫 𠂬 𠂭 𠂮 𠂯 𠂰 𠂱 𠂲 𠂳 𠂴 𠂵 𠂶 𠂷 𠂸 𠂹 𠂺 𠂻 𠂼 𠂽 𠂾 𠂿 𠃀 𠃁 𠃂 𠃃 𠃄 𠃅 𠃆 𠃇 𠃈 𠃉 𠃊 𠃋 𠃌 𠃍 𠃎 𠃏 𠃐 𠃑 𠃒 𠃓 𠃔 𠃕 𠃖 𠃗 𠃘 𠃙 𠃚 𠃛 𠃜 𠃝 𠃞 𠃟 𠃠 𠃡 𠃢 𠃣 𠃤 𠃥 𠃦 𠃧 𠃨 𠃩 𠃪 𠃫 𠃬 𠃭 𠃮 𠃯 𠃰 𠃱 𠃲 𠃳 𠃴 𠃵 𠃶 𠃷 𠃸 𠃹 𠃺 𠃻 𠃼 𠃽 𠃾 𠃿 𠄀 𠄁 𠄂 𠄃 𠄄 𠄅 𠄆 𠄇 𠄈 𠄉 𠄊 𠄋 𠄌 𠄍 𠄎 𠄏 𠄐 𠄑 𠄒 𠄓 𠄔 𠄕 𠄖 𠄗 𠄘 𠄙 𠄚 𠄛 𠄜 𠄝 𠄞 𠄟 𠄠 𠄡 𠄢 𠄣 𠄤 𠄥 𠄦 𠄧 𠄨 𠄩 𠄪 𠄫 𠄬 𠄭 𠄮 𠄯 𠄰 𠄱 𠄲 𠄳 𠄴 𠄵 𠄶 𠄷 𠄸 𠄹 𠄺 𠄻 𠄼 𠄽 𠄾 𠄿 𠅀 𠅁 𠅂 𠅃 𠅄 𠅅 𠅆 𠅇 𠅈 𠅉 𠅊 𠅋 𠅌 𠅍 𠅎 𠅏 𠅐 𠅑 𠅒 𠅓 𠅔 𠅕 𠅖 𠅗 𠅘 𠅙 𠅚 𠅛 𠅜 𠅝 𠅞 𠅟 𠅠 𠅡 𠅢 𠅣 𠅤 𠅥 𠅦 𠅧 𠅨 𠅩 𠅪 𠅫 𠅬 𠅭 𠅮 𠅯 𠅰 𠅱 𠅲 𠅳 𠅴 𠅵 𠅶 𠅷 𠅸 𠅹 𠅺 𠅻 𠅼 𠅽 𠅾 𠅿 𠆀 𠆁 𠆂 𠆃 𠆄 𠆅 𠆆 𠆇 𠆈 𠆉 𠆊 𠆋 𠆌 𠆍 𠆎 𠆏 𠆐 𠆑 𠆒 𠆓 𠆔 𠆕 𠆖 𠆗 𠆘 𠆙 𠆚 𠆛 𠆜 𠆝 𠆞 𠆟 𠆠 𠆡 𠆢 𠆣 𠆤 𠆥 𠆦 𠆧 𠆨 𠆩 𠆪 𠆫 𠆬 𠆭 𠆮 𠆯 𠆰 𠆱 𠆲 𠆳 𠆴 𠆵 𠆶 𠆷 𠆸 𠆹 𠆺 𠆻 𠆼 𠆽 𠆾 𠆿 𠇀 𠇁 𠇂 𠇃 𠇄 𠇅 𠇆 𠇇 𠇈 𠇉 𠇊 𠇋 𠇌 𠇍 𠇎 𠇏 𠇐 𠇑 𠇒 𠇓 𠇔 𠇕 𠇖 𠇗 𠇘 𠇙 𠇚 𠇛 𠇜 𠇝 𠇞 𠇟 𠇠 𠇡 𠇢 𠇣 𠇤 𠇥 𠇦 𠇧 𠇨 𠇩 𠇪 𠇫 𠇬 𠇭 𠇮 𠇯 𠇰 𠇱 𠇲 𠇳 𠇴 𠇵 𠇶 𠇷 𠇸 𠇹 𠇺 𠇻 𠇼 𠇽 𠇾 𠇿 𠈀 𠈁 𠈂 𠈃 𠈄 𠈅 𠈆 𠈇 𠈈 𠈉 𠈊 𠈋 𠈌 𠈍 𠈎 𠈏 𠈐 𠈑 𠈒 𠈓 𠈔 𠈕 𠈖 𠈗 𠈘 𠈙 𠈚 𠈛 𠈜 𠈝 𠈞 𠈟 𠈠 𠈡 𠈢 𠈣 𠈤 𠈥 𠈦 𠈧 𠈨 𠈩 𠈪 𠈫 𠈬 𠈭 𠈮 𠈯 𠈰 𠈱 𠈲 𠈳 𠈴 𠈵 𠈶 𠈷 𠈸 𠈹 𠈺 𠈻 𠈼 𠈽 𠈾 𠈿 𠉀 𠉁 𠉂 𠉃 𠉄 𠉅 𠉆 𠉇 𠉈 𠉉 𠉊 𠉋 𠉌 𠉍 𠉎 𠉏 𠉐 𠉑 𠉒 𠉓 𠉔 𠉕 𠉖 𠉗 𠉘 𠉙 𠉚 𠉛 𠉜 𠉝 𠉞 𠉟 𠉠 𠉡 𠉢 𠉣 𠉤 𠉥 𠉦 𠉧 𠉨 𠉩 𠉪 𠉫 𠉬 𠉭 𠉮 𠉯 𠉰 𠉱 𠉲 𠉳 𠉴 𠉵 𠉶 𠉷 𠉸 𠉹 𠉺 𠉻 𠉼 𠉽 𠉾 𠉿 𠊀 𠊁 𠊂 𠊃 𠊄 𠊅 𠊆 𠊇 𠊈 𠊉 𠊊 𠊋 𠊌 𠊍 𠊎 𠊏 𠊐 𠊑 𠊒 𠊓 𠊔 𠊕 𠊖 𠊗 𠊘 𠊙 𠊚 𠊛 𠊜 𠊝 𠊞 𠊟 𠊠 𠊡 𠊢 𠊣 𠊤 𠊥 𠊦 𠊧 𠊨 𠊩 𠊪 𠊫 𠊬 𠊭 𠊮 𠊯 𠊰 𠊱 𠊲 𠊳 𠊴 𠊵 𠊶 𠊷 𠊸 𠊹 𠊺 𠊻 𠊼 𠊽 𠊾 𠊿 𠋀 𠋁 𠋂 𠋃 𠋄 𠋅 𠋆 𠋇 𠋈 𠋉 𠋊 𠋋 𠋌 𠋍 𠋎 𠋏 𠋐 𠋑 𠋒 𠋓 𠋔 𠋕 𠋖 𠋗 𠋘 𠋙 𠋚 𠋛 𠋜 𠋝 𠋞 𠋟 𠋠 𠋡 𠋢 𠋣 𠋤 𠋥 𠋦 𠋧 𠋨 𠋩 𠋪 𠋫 𠋬 𠋭 𠋮 𠋯 𠋰 𠋱 𠋲 𠋳 𠋴 𠋵 𠋶 𠋷 𠋸 𠋹 𠋺 𠋻 𠋼 𠋽 𠋾 𠋿 𠌀 𠌁 𠌂 𠌃 𠌄 𠌅 𠌆 𠌇 𠌈 𠌉 𠌊 𠌋 𠌌 𠌍 𠌎 𠌏 𠌐 𠌑 𠌒 𠌓 𠌔 𠌕 𠌖 𠌗 𠌘 𠌙 𠌚 𠌛 𠌜 𠌝 𠌞 𠌟 𠌠 𠌡 𠌢 𠌣 𠌤 𠌥 𠌦 𠌧 𠌨 𠌩 𠌪 𠌫 𠌬 𠌭 𠌮 𠌯 𠌰 𠌱 𠌲 𠌳 𠌴 𠌵 𠌶 𠌷 𠌸 𠌹 𠌺 𠌻 𠌼 𠌽 𠌾 𠌿 𠍀 𠍁 𠍂 𠍃 𠍄 𠍅 𠍆 𠍇 𠍈 𠍉 𠍊 𠍋 𠍌 𠍍 𠍎 𠍏 𠍐 𠍑 𠍒 𠍓 𠍔 𠍕 𠍖 𠍗 𠍘 𠍙 𠍚 𠍛 𠍜 𠍝 𠍞 𠍟 𠍠 𠍡 𠍢 𠍣 𠍤 𠍥 𠍦 𠍧 𠍨 𠍩 𠍪 𠍫 𠍬 𠍭 𠍮 𠍯 𠍰 𠍱 𠍲 𠍳 𠍴 𠍵 𠍶 𠍷 𠍸 𠍹 𠍺 𠍻 𠍼 𠍽 𠍾 𠍿 𠎀 𠎁 𠎂 𠎃 𠎄 𠎅 𠎆 𠎇 𠎈 𠎉 𠎊 𠎋 𠎌 𠎍 𠎎 𠎏 𠎐 𠎑 𠎒 𠎓 𠎔 𠎕 𠎖 𠎗 𠎘 𠎙 𠎚 𠎛 𠎜 𠎝 𠎞 𠎟 𠎠 𠎡 𠎢 𠎣 𠎤 𠎥 𠎦 𠎧 𠎨 𠎩 𠎪 𠎫 𠎬 𠎭 𠎮 𠎯 𠎰 𠎱 𠎲 𠎳 𠎴 𠎵 𠎶 𠎷 𠎸 𠎹 𠎺 𠎻 𠎼 𠎽 𠎾 𠎿 𠏀 𠏁 𠏂 𠏃 𠏄 𠏅 𠏆 𠏇 𠏈 𠏉 𠏊 𠏋 𠏌 𠏍 𠏎 𠏏 𠏐 𠏑 𠏒 𠏓 𠏔 𠏕 𠏖 𠏗 𠏘 𠏙 𠏚 𠏛 𠏜 𠏝 𠏞 𠏟 𠏠 𠏡 𠏢 𠏣 𠏤 𠏥 𠏦 𠏧 𠏨 𠏩 𠏪 𠏫 𠏬 𠏭 𠏮 𠏯 𠏰 𠏱 𠏲 𠏳 𠏴 𠏵 𠏶 𠏷 𠏸 𠏹 𠏺 𠏻 𠏼 𠏽 𠏾 𠏿 𠐀 𠐁 𠐂 𠐃 𠐄 𠐅 𠐆 𠐇 𠐈 𠐉 𠐊 𠐋 𠐌 𠐍 𠐎 𠐏 𠐐 𠐑 𠐒 𠐓 𠐔 𠐕 𠐖 𠐗 𠐘 𠐙 𠐚 𠐛 𠐜 𠐝 𠐞 𠐟 𠐠 𠐡 𠐢 𠐣 𠐤 𠐥 𠐦 𠐧 𠐨 𠐩 𠐪 𠐫 𠐬 𠐭 𠐮 𠐯 𠐰 𠐱 𠐲 𠐳 𠐴 𠐵 𠐶 𠐷 𠐸 𠐹 𠐺 𠐻 𠐼 𠐽 𠐾 𠐿 𠑀 𠑁 𠑂 𠑃 𠑄 𠑅 𠑆 𠑇 𠑈 𠑉 𠑊 𠑋 𠑌 𠑍 𠑎 𠑏 𠑐 𠑑 𠑒 𠑓 𠑔 𠑕 𠑖 𠑗 𠑘 𠑙 𠑚 𠑛 𠑜 𠑝 𠑞 𠑟 𠑠 𠑡 𠑢 𠑣 𠑤 𠑥 𠑦 𠑧 𠑨 𠑩 𠑪 𠑫 𠑬 𠑭 𠑮 𠑯 𠑰 𠑱 𠑲 𠑳 𠑴 𠑵 𠑶 𠑷 𠑸 𠑹 𠑺 𠑻 𠑼 𠑽 𠑾 𠑿 𠒀 𠒁 𠒂 𠒃 𠒄 𠒅 𠒆 𠒇 𠒈 𠒉 𠒊 𠒋 𠒌 𠒍 𠒎 𠒏 𠒐 𠒑 𠒒 𠒓 𠒔 𠒕 𠒖 𠒗 𠒘 𠒙 𠒚 𠒛 𠒜 𠒝 𠒞 𠒟 𠒠 𠒡 𠒢 𠒣 𠒤 𠒥 𠒦 𠒧 𠒨 𠒩 𠒪 𠒫 𠒬 𠒭 𠒮 𠒯 𠒰 𠒱 𠒲 𠒳 𠒴 𠒵 𠒶 𠒷 𠒸 𠒹 𠒺 𠒻 𠒼 𠒽 𠒾 𠒿 𠓀 𠓁 𠓂 𠓃 𠓄 𠓅 𠓆 𠓇 𠓈 𠓉 𠓊 𠓋 𠓌 𠓍 𠓎 𠓏 𠓐 𠓑 𠓒 𠓓 𠓔 𠓕 𠓖 𠓗 𠓘 𠓙 𠓚 𠓛 𠓜 𠓝 𠓞 𠓟 𠓠 𠓡 𠓢 𠓣 𠓤 𠓥 𠓦 𠓧 𠓨 𠓩 𠓪 𠓫 𠓬 𠓭 𠓮 𠓯 𠓰 𠓱 𠓲 𠓳 𠓴 𠓵 𠓶 𠓷 𠓸 𠓹 𠓺 𠓻 𠓼 𠓽 𠓾 𠓿 𠔀 𠔁 𠔂 𠔃 𠔄 𠔅 𠔆 𠔇 𠔈 𠔉 𠔊 𠔋 𠔌 𠔍 𠔎 𠔏 𠔐 𠔑 𠔒 𠔓 𠔔 𠔕 𠔖 𠔗 𠔘 𠔙 𠔚 𠔛 𠔜 𠔝 𠔞 𠔟 𠔠 𠔡 𠔢 𠔣 𠔤 𠔥 𠔦 𠔧 𠔨 𠔩 𠔪 𠔫 𠔬 𠔭 𠔮 𠔯 𠔰 𠔱 𠔲 𠔳 𠔴 𠔵 𠔶 𠔷 𠔸 𠔹 𠔺 𠔻 𠔼 𠔽 𠔾 𠔿 𠕀 𠕁 𠕂 𠕃 𠕄 𠕅 𠕆 𠕇 𠕈 𠕉 𠕊 𠕋 𠕌 𠕍 𠕎 𠕏 𠕐 𠕑 𠕒 𠕓 𠕔 𠕕 𠕖 𠕗 𠕘 𠕙 𠕚 𠕛 𠕜 𠕝 𠕞 𠕟 𠕠 𠕡 𠕢 𠕣 𠕤 𠕥 𠕦 𠕧 𠕨 𠕩 𠕪 𠕫 𠕬 𠕭 𠕮 𠕯 𠕰 𠕱 𠕲 𠕳 𠕴 𠕵 𠕶 𠕷 𠕸 𠕹 𠕺 𠕻 𠕼 𠕽 𠕾 𠕿 𠖀 𠖁 𠖂 𠖃 𠖄 𠖅 𠖆 𠖇 𠖈 𠖉 𠖊 𠖋 𠖌 𠖍 𠖎 𠖏 𠖐 𠖑 𠖒 𠖓 𠖔 𠖕 𠖖 𠖗 𠖘 𠖙 𠖚 𠖛 𠖜 𠖝 𠖞 𠖟 𠖠 𠖡 𠖢 𠖣 𠖤 𠖥 𠖦 𠖧 𠖨 𠖩 𠖪 𠖫 𠖬 𠖭 𠖮 𠖯 𠖰 𠖱 𠖲 𠖳 𠖴 𠖵 𠖶 𠖷 𠖸 𠖹 𠖺 𠖻 𠖼 𠖽 𠖾 𠖿 𠗀 𠗁 𠗂 𠗃 𠗄 𠗅 𠗆 𠗇 𠗈 𠗉 𠗊 𠗋 𠗌 𠗍 𠗎 𠗏 𠗐 𠗑 𠗒 𠗓 𠗔 𠗕 𠗖 𠗗 𠗘 𠗙 𠗚 𠗛 𠗜 𠗝 𠗞 𠗟 𠗠 𠗡 𠗢 𠗣 𠗤 𠗥 𠗦 𠗧 𠗨 𠗩 𠗪 𠗫 𠗬 𠗭 𠗮 𠗯 𠗰 𠗱 𠗲 𠗳 𠗴 𠗵 𠗶 𠗷 𠗸 𠗹 𠗺 𠗻 𠗼 𠗽 𠗾 𠗿 𠘀 𠘁 𠘂 𠘃 𠘄 𠘅 𠘆 𠘇 𠘈 𠘉 𠘊 𠘋 𠘌 𠘍 𠘎 𠘏 𠘐 𠘑 𠘒 𠘓 𠘔 𠘕 𠘖 𠘗 𠘘 𠘙 𠘚 𠘛 𠘜 𠘝 𠘞 𠘟 𠘠 𠘡 𠘢 𠘣 𠘤 𠘥 𠘦 𠘧 𠘨 𠘩 𠘪 𠘫 𠘬 𠘭 𠘮 𠘯 𠘰 𠘱 𠘲 𠘳 𠘴 𠘵 𠘶 𠘷 𠘸 𠘹 𠘺 𠘻 𠘼 𠘽 𠘾 𠘿 𠙀 𠙁 𠙂 𠙃 𠙄 𠙅 𠙆 𠙇 𠙈 𠙉 𠙊 𠙋 𠙌 𠙍 𠙎 𠙏 𠙐 𠙑 𠙒 𠙓 𠙔 𠙕 𠙖 𠙗 𠙘 𠙙 𠙚 𠙛 𠙜 𠙝 𠙞 𠙟 𠙠 𠙡 𠙢 𠙣 𠙤 𠙥 𠙦 𠙧 𠙨 𠙩 𠙪 𠙫 𠙬 𠙭 𠙮 𠙯 𠙰 𠙱 𠙲 𠙳 𠙴 𠙵 𠙶 𠙷 𠙸 𠙹 𠙺 𠙻 𠙼 𠙽 𠙾 𠙿 𠚀 𠚁 𠚂 𠚃 𠚄 𠚅 𠚆 𠚇 𠚈 𠚉 𠚊 𠚋 𠚌 𠚍 𠚎 𠚏 𠚐 𠚑 𠚒 𠚓 𠚔 𠚕 𠚖 𠚗 𠚘 𠚙 𠚚 𠚛 𠚜 𠚝 𠚞 𠚟 𠚠 𠚡 𠚢 𠚣 𠚤 𠚥 𠚦 𠚧 𠚨 𠚩 𠚪 𠚫 𠚬 𠚭 𠚮 𠚯 𠚰 𠚱 𠚲 𠚳 𠚴 𠚵 𠚶 𠚷 𠚸 𠚹 𠚺 𠚻 𠚼 𠚽 𠚾 𠚿 𠛀 𠛁 𠛂 𠛃 𠛄 𠛅 𠛆 𠛇 𠛈 𠛉 𠛊 𠛋 𠛌 𠛍 𠛎 𠛏 𠛐 𠛑 𠛒 𠛓 𠛔 𠛕 𠛖 𠛗 𠛘 𠛙 𠛚 𠛛 𠛜 𠛝 𠛞 𠛟 𠛠 𠛡 𠛢 𠛣 𠛤 𠛥 𠛦 𠛧 𠛨 𠛩 𠛪 𠛫 𠛬 𠛭 𠛮 𠛯 𠛰 𠛱 𠛲 𠛳 𠛴 𠛵 𠛶 𠛷 𠛸 𠛹 𠛺 𠛻 𠛼 𠛽 𠛾 𠛿 𠜀 𠜁 𠜂 𠜃 𠜄 𠜅 𠜆 𠜇 𠜈 𠜉 𠜊 𠜋 𠜌 𠜍 𠜎 𠜏 𠜐 𠜑 𠜒 𠜓 𠜔 𠜕 𠜖 𠜗 𠜘 𠜙 𠜚 𠜛 𠜜 𠜝 𠜞 𠜟 𠜠 𠜡 𠜢 𠜣 𠜤 𠜥 𠜦 𠜧 𠜨 𠜩 𠜪 𠜫 𠜬 𠜭 𠜮 𠜯 𠜰 𠜱 𠜲 𠜳 𠜴 𠜵 𠜶 𠜷 𠜸 𠜹 𠜺 𠜻 𠜼 𠜽 𠜾 𠜿 𠝀 𠝁 𠝂 𠝃 𠝄 𠝅 𠝆 𠝇 𠝈 𠝉 𠝊 𠝋 𠝌 𠝍 𠝎 𠝏 𠝐 𠝑 𠝒 𠝓 𠝔 𠝕 𠝖 𠝗 𠝘 𠝙 𠝚 𠝛 𠝜 𠝝 𠝞 𠝟 𠝠 𠝡 𠝢 𠝣 𠝤 𠝥 𠝦 𠝧 𠝨 𠝩 𠝪 𠝫 𠝬 𠝭 𠝮 𠝯 𠝰 𠝱 𠝲 𠝳 𠝴 𠝵 𠝶 𠝷 𠝸 𠝹 𠝺 𠝻 𠝼 𠝽 𠝾 𠝿 𠞀 𠞁 𠞂 𠞃 𠞄 𠞅 𠞆 𠞇 𠞈 𠞉 𠞊 𠞋 𠞌 𠞍 𠞎 𠞏 𠞐 𠞑 𠞒 𠞓 𠞔 𠞕 𠞖 𠞗 𠞘 𠞙 𠞚 𠞛 𠞜 𠞝 𠞞 𠞟 𠞠 𠞡 𠞢 𠞣 𠞤 𠞥 𠞦 𠞧 𠞨 𠞩 𠞪 𠞫 𠞬 𠞭 𠞮 𠞯 𠞰 𠞱 𠞲 𠞳 𠞴 𠞵 𠞶 𠞷 𠞸 𠞹 𠞺 𠞻 𠞼 𠞽 𠞾 𠞿 𠟀 𠟁 𠟂 𠟃 𠟄 𠟅 𠟆 𠟇 𠟈 𠟉 𠟊 𠟋 𠟌 𠟍 𠟎 𠟏 𠟐 𠟑 𠟒 𠟓 𠟔 𠟕 𠟖 𠟗 𠟘 𠟙 𠟚 𠟛 𠟜 𠟝 𠟞 𠟟 𠟠 𠟡 𠟢 𠟣 𠟤 𠟥 𠟦 𠟧 𠟨 𠟩 𠟪 𠟫 𠟬 𠟭 𠟮 𠟯 𠟰 𠟱 𠟲 𠟳 𠟴 𠟵 𠟶 𠟷 𠟸 𠟹 𠟺 𠟻 𠟼 𠟽 𠟾 𠟿 𠠀 𠠁 𠠂 𠠃 𠠄 𠠅 𠠆 𠠇 𠠈 𠠉 𠠊 𠠋 𠠌 𠠍 𠠎 𠠏 𠠐 𠠑 𠠒 𠠓 𠠔 𠠕 𠠖 𠠗 𠠘 𠠙 𠠚 𠠛 𠠜 𠠝 𠠞 𠠟 𠠠 𠠡 𠠢 𠠣 𠠤 𠠥 𠠦 𠠧 𠠨 𠠩 𠠪 𠠫 𠠬 𠠭 𠠮 𠠯 𠠰 𠠱 𠠲 𠠳 𠠴 𠠵 𠠶 𠠷 𠠸 𠠹 𠠺 𠠻 𠠼 𠠽 𠠾 𠠿 𠡀 𠡁 𠡂 𠡃 𠡄 𠡅 𠡆 𠡇 𠡈 𠡉 𠡊 𠡋 𠡌 𠡍 𠡎 𠡏 𠡐 𠡑 𠡒 𠡓 𠡔 𠡕 𠡖 𠡗 𠡘 𠡙 𠡚 𠡛 𠡜 𠡝 𠡞 𠡟 𠡠 𠡡 𠡢 𠡣 𠡤 𠡥 𠡦 𠡧 𠡨 𠡩 𠡪 𠡫 𠡬 𠡭 𠡮 𠡯 𠡰 𠡱 𠡲 𠡳 𠡴 𠡵 𠡶 𠡷 𠡸 𠡹 𠡺 𠡻 𠡼 𠡽 𠡾 𠡿 𠢀 𠢁 𠢂 𠢃 𠢄 𠢅 𠢆 𠢇 𠢈 𠢉 𠢊 𠢋 𠢌 𠢍 𠢎 𠢏 𠢐 𠢑 𠢒 𠢓 𠢔 𠢕 𠢖 𠢗 𠢘 𠢙 𠢚 𠢛 𠢜 𠢝 𠢞 𠢟 𠢠 𠢡 𠢢 𠢣 𠢤 𠢥 𠢦 𠢧 𠢨 𠢩 𠢪 𠢫 𠢬 𠢭 𠢮 𠢯 𠢰 𠢱 𠢲 𠢳 𠢴 𠢵 𠢶 𠢷 𠢸 𠢹 𠢺 𠢻 𠢼 𠢽 𠢾 𠢿 𠣀 𠣁 𠣂 𠣃 𠣄 𠣅 𠣆 𠣇 𠣈 𠣉 𠣊 𠣋 𠣌 𠣍 𠣎 𠣏 𠣐 𠣑 𠣒 𠣓 𠣔 𠣕 𠣖 𠣗 𠣘 𠣙 𠣚 𠣛 𠣜 𠣝 𠣞 𠣟 𠣠 𠣡 𠣢 𠣣 𠣤 𠣥 𠣦 𠣧 𠣨 𠣩 𠣪 𠣫 𠣬 𠣭 𠣮 𠣯 𠣰 𠣱 𠣲 𠣳 𠣴 𠣵 𠣶 𠣷 𠣸 𠣹 𠣺 𠣻 𠣼 𠣽 𠣾 𠣿 𠤀 𠤁 𠤂 𠤃 𠤄 𠤅 𠤆 𠤇 𠤈 𠤉 𠤊 𠤋 𠤌 𠤍 𠤎 𠤏 𠤐 𠤑 𠤒 𠤓 𠤔 𠤕 𠤖 𠤗 𠤘 𠤙 𠤚 𠤛 𠤜 𠤝 𠤞 𠤟 𠤠 𠤡 𠤢 𠤣 𠤤 𠤥 𠤦 𠤧 𠤨 𠤩 𠤪 𠤫 𠤬 𠤭 𠤮 𠤯 𠤰 𠤱 𠤲 𠤳 𠤴 𠤵 𠤶 𠤷 𠤸 𠤹 𠤺 𠤻 𠤼 𠤽 𠤾 𠤿 𠥀 𠥁 𠥂 𠥃 𠥄 𠥅 𠥆 𠥇 𠥈 𠥉 𠥊 𠥋 𠥌 𠥍 𠥎 𠥏 𠥐 𠥑 𠥒 𠥓 𠥔 𠥕 𠥖 𠥗 𠥘 𠥙 𠥚 𠥛 𠥜 𠥝 𠥞 𠥟 𠥠 𠥡 𠥢 𠥣 𠥤 𠥥 𠥦 𠥧 𠥨 𠥩 𠥪 𠥫 𠥬 𠥭 𠥮 𠥯 𠥰 𠥱 𠥲 𠥳 𠥴 𠥵 𠥶 𠥷 𠥸 𠥹 𠥺 𠥻 𠥼 𠥽 𠥾 𠥿 𠦀 𠦁 𠦂 𠦃 𠦄 𠦅 𠦆 𠦇 𠦈 𠦉 𠦊 𠦋 𠦌 𠦍 𠦎 𠦏 𠦐 𠦑 𠦒 𠦓 𠦔 𠦕 𠦖 𠦗 𠦘 𠦙 𠦚 𠦛 𠦜 𠦝 𠦞 𠦟 𠦠 𠦡 𠦢 𠦣 𠦤 𠦥 𠦦 𠦧 𠦨 𠦩 𠦪 𠦫 𠦬 𠦭 𠦮 𠦯 𠦰 𠦱 𠦲 𠦳 𠦴 𠦵 𠦶 𠦷 𠦸 𠦹 𠦺 𠦻 𠦼 𠦽 𠦾 𠦿 𠧀 𠧁 𠧂 𠧃 𠧄 𠧅 𠧆 𠧇 𠧈 𠧉 𠧊 𠧋 𠧌 𠧍 𠧎 𠧏 𠧐 𠧑 𠧒 𠧓 𠧔 𠧕 𠧖 𠧗 𠧘 𠧙 𠧚 𠧛 𠧜 𠧝 𠧞 𠧟 𠧠 𠧡 𠧢 𠧣 𠧤 𠧥 𠧦 𠧧 𠧨 𠧩 𠧪 𠧫 𠧬 𠧭 𠧮 𠧯 𠧰 𠧱 𠧲 𠧳 𠧴 𠧵 𠧶 𠧷 𠧸 𠧹 𠧺 𠧻 𠧼 𠧽 𠧾 𠧿 𠨀 𠨁 𠨂 𠨃 𠨄 𠨅 𠨆 𠨇 𠨈 𠨉 𠨊 𠨋 𠨌 𠨍 𠨎 𠨏 𠨐 𠨑 𠨒 𠨓 𠨔 𠨕 𠨖 𠨗 𠨘 𠨙 𠨚 𠨛 𠨜 𠨝 𠨞 𠨟 𠨠 𠨡 𠨢

已上
古今

○遊
遊

遊
遊

好
已上
秋穀

○
工

並音
猷

遊
遊

りく
をり

弓

之省文訓也唐韻居戎切
集韻韻會居雄切正韻居

中切並音宮○和名抄云四聲字苑
云弓音宮和名由美○又古抄本二

工

ト書夕
弓
畧也

○真澄按二契冲並文雄弓ノ畧ト也

レ說是也白石遊ノ省文ニテ其音

ヲ假ト云レタルハ誤也全長云薦

信ハ勇

唐韻余隴切集韻韻會
正韻尹竦切並音涌ノ上

信ハ勇

唐韻 余階切 集韻 韻會 正韻 尹竦切 並音涌

ノ上

下ノ二十九

ヲ取トスト云ヒ谷川士清由省文

ト云ヒモ皆非也

○ ㄣ

系條ニ
訖をア

○ ㄱ

同上

○ ㄴ

○ 与之部

○ ㄷ

○ ㄹ
萩 秋
ㄹ ㄹ ㄹ ㄹ

○ ㄹ

ハ 与

之音也與之古字 廣韻 戈
諸切 正韻 戈渚切 集韻 韻

會演女切 並音予

ㄹ ㄹ ㄹ ㄹ

かゝ
みぬ

梁
王
王
ら
ら
か
か
古
人
ら
ら

已上
秋款

ら
ら
ら
ら
ら
ら

已上
古今

○羅
羅
羅
羅
羅

羅
羅
羅
羅
羅

羅
羅
羅
羅
羅
秋款
已上

○羅

ハ
羅
之音也
廣韻魯何切
集韻
韻會良何切
正韻郎何切

並音
羅
羅
羅
羅
羅
か
く
精
未
社
了

○ラ

ハ
良
之省文也
古抄本
ラ
ト書
リ

○リ

ハ
リ
之音也
唐韻
集韻
韻會
力

○リ

ハ
リ
至切
正韻力地切
並音
詁

○リ

ハ
利
之音也
唐韻
集韻
韻會
力

利
利
利
利
利
か
く
の
め

百重

○利之部

秋 秋
秋 秋
秋 秋

わわわわ

わわわ

之轉を里利と利と似るを此の
とに一連れる勢よりかど粒に成
るる粒のふたより一連れる勢
く候字數兩ふたに付ては粒にけり
○市く 一と粒心書 市 の粒字
古人 ひりあへ 市 市と豎
乃一畫を省く片候字くある
粒とひりとびとのわくちハ候の候字
數兩は 市

○

是は梅るより白石りハ片候字のり

より来れるあや。ひりりり

あやあやあや

之音也 廣韻良已切 集韻

新刊記

り

り

り
已上
古今

○里

已上
秋萩
百重

○梨

○里

○裏

○梨

○李

○利

里
之音也
廣韻良已切
集韻
兩耳切
正韻
良以切
並音

裏
之音也
唐韻里之切
集韻
兩耳切
正韻
鄰之切
並音

梨
之音也
唐韻里之切
集韻
兩耳切
正韻
鄰之切
並音

釐
之音也
唐韻里之切
集韻
兩耳切
正韻
鄰之切
並音

李
之音也
唐韻里之切
集韻
兩耳切
正韻
鄰之切
並音

並音
里
李
之音也
唐韻里之切
集韻
兩耳切
正韻
鄰之切
並音

利
之省文也
○同文通考二
管家ノ点
圖並二ト部家
ノ經点ト
テリ
七
ト書
ハ疑
外ニ此體ニ

○李

○畱之部

るるる

るるる

るるる已上
秋萩

るるる已上
古今

書タル古抄本モ見當
ラ子ハ信用シ難シ

○る

○ル

○る

ハ畱

之吳音也唐韻集韻
正韻並力求切音流

畱るる

うくはるる
将来れり

とあるもの字は勢よりれり
かゝるるる一依る類聚云

○る

ハ累

之音也廣韻力追切
集韻倫追切並音標

累るる

と轉
ぢり

る^{已上}
る^{秋萩}
る
る
る

る
る
る
る
る

る^{已上}
る^{古今}

○累

○流
し
し
し
し

し
し
し
し
し

○生溪梅^今俗^家と書ハ^本字^を考

一ぬ人の誤^もく^と古^に人^文は^あ

あ^るも^ち累^の下^を糸^され^た點

と^あい^く一^を松^文は^あ流^の

を^あい^くと^書ハ^あの^るも^ちは^あの

を^あい^くと^書ハ^あの^るも^ちは^あの

を^あい^くと^書ハ^あの^るも^ちは^あの

を^あい^くと^書ハ^あの^るも^ちは^あの

已上
秋菰

類

詩

八
流

之吳音也唐韻集韻韻會正韻並力求切音留

疎
詩

又轉を
家
か

款

類

之音也 唐韻 集韻 韻會
正韻 並力遂切音戾

新
新

款
款
子
子

凡

流

文之省也

○呂之部

い
い
い
い
い

ろ
ろ
ろ
ろ
ろ

已上
秋萩

ろ
ろ
ろ
ろ
ろ

○
と

ハ
連

之音也唐韻力延切集韻
韻會陵延切正韻靈年切

○
し

ハ
礼

之省文也
○古抄本
し
ト書
リ

並音
連

将
とる
あ
ろ
ろ
ろ
ろ
ろ

○
ろ

○
口

○
ろ

ハ
呂

之吳音也唐韻力舉切集
韻韻會正韻兩舉切並音

旅
ろ

ろ
ろ
ろ
ろ
ろ

か
ろ
ろ
ろ
ろ

ろ
ろ
ろ
ろ
ろ

○
ろ
ろ
ろ
ろ
ろ

之音也唐韻洛故切集韻

人 人 人 人

人 人
已上
古今

路 路 路
已上
重百

○和之部

和 和 和 和

○洛

ハ 路

之音也 **唐韻** 洛故切 **集韻**
韻會 **正韻** 魯故切並音賂

路 洛

洛 子路

○口

ハ 呂

之省文也
○古抄本 呂
ト金字ニ
モ力ケリ

○ワ

ハ

○ワ

ハ

○ハ

ハ 和

之吳音也 **廣韻** **正韻** 戶戈切
集韻 **韻會** 胡戈切並音

和 和 和 和
ハ 和 和 和
ハ 和 和 和

ハ 和 和 和
ハ 和 和 和
ハ 和 和 和

和

和已上
秋穀

和

已上

古今

○王

○

ハ 王

之吳音也
廣韻
集韻
並兩方切音惶

王

○

ハ 和

之省文也
古抄本

門

ト書
又

禾

○

ト書
夕和
ノ省
畧也

○

真澄按二或ワハ曰

之吳音也
唐韻
集韻
韻會
並王

○

伐切也
ト云古抄本
人體二近レト
音越

イヘト
ヲ猶非也

○

○

為

五音
始
並音韻

○為之部

為 秋 已上
為 古 今

○井 重
井 百

○斗

○為

為

之音也 唐韻 遠支切 集韻 于嬌切並音瀉 為

為

為 かゝのふ

○井

井

之訓也 唐韻 集韻 韻會 正
韻並子郢切精上聲○和

○斗

斗

名抄云四聲字苑云鑿地取水也音子郢反和名為井 多能

之音省父也 唐韻 字非切 集韻 韻會 于非切並音幃

○又 別ニ井

ト書 ル 井 ノ 全字ト云說

說ヲ見テ 考ヘシ

○真澄按二白石貝原契冲文雄士清

春海皆訓ヲ假テ井ノ全文トス澤

元愷井者省圍唐韻羽非切集韻于非切並音韋之

田又省者也宜作斗與井筒之井不

同ト云リ此說既二古人云云ルヲ

潛二取用夕儿也白石俗田字ヲ以

圍字トス儿事甚非也田ハ他塚切

音通策也ト篇海二見エ夕リト云

音通策也ト篇海ニ見エタリト云

下ノ三十六

川然ルニ清水濱臣力説ニ井ノ字
假字ニ用レ事古ハ見當ラス古事
記書紀ヲ始絶テナシタ、日本紀
竟宴和歌ニ一取都^{ツク}久志野^{シノ}伴者井^{イハ}
トノニアルハ磐井ノ井ナレハ義
モテ名付シ人名ニテ假名トハ云
難シタ、和名抄ニノ三見エタレ
ト是モ大方ハ為ヲ用テ井ヲ書シ

ハイト稀也サテ今ノ片假字ノ井
ハ古ク書来レルハ斗ト書タリ是
明ニ韋ノ省文ナルヲ知ヘシ古事
記ニハ斗ノ假字ニハ悉皆韋字ヲ
用テ他字ヲ借ラスト云リ精シト
云ヘシ

○前田夏蔭云為ノ假字ニ井字ヲ用
ルハイト上代ニハ無事ナレト字

ルハイト上代ニハ無事ナレト字

下ノ三十七

鏡ヲ始テ新撰万葉和名抄神樂催
馬樂譜等ニ見ユヤ、ウ、後ノ世ニ
ハ常ニ此字ヲ書ナレタリト覺ユ
サレハ字畫少キ故片假字ノ中ニ
モ書交レ也予力見タル古抄本ノ
南北朝以上ノ物ニ片假字ニ井ト
書ルヲ多覺タリ稀ニ井ト書ルモ
有レ様ニ覺ユレト後ニハ十ヘテ

○ 惠之部

井ノ字書易キニ任テ今世ニテモ

専ラ井トノ三書コトハハ成タレ

也サレハ是ハ必井也トモ定ヘカ

ラス又井トノ三思ハムモ考ヘタ

ラヌ成ヘシ

○ 常 糸條ノ下書ナレタリイ莫上
訖をア

○ ウ 同上

○ 急

有 秋 秋 萩

急 已上古今

○衛

○工

○急 ハ 惠

慧 惠 惠 惠 惠 惠 惠 惠 惠 惠

之吳音也唐韻集韻正韻
胡桂切韻會胡計切並音

急 ハ 惠

○急 ハ 惠

之音也唐韻集韻韻
會並于歲切音慧

衛

急 ハ 惠

急 ハ 惠

急 ハ 惠

○

卫

古抄本

丑

トモ書リ

○

真澄按ニ此字種々説有テ一定シ

難シサレト慧

吳音也唐韻集韻正韻並胡桂切音惠

ノ字本朝ニテ慧ト書ヨリノ省文

ナル由ノ説暫然ヘリ聞工先試ニ

諸説ヲ拳置也

○

同文通考云惠ノ字ノ和字ノ省文

ニテ吳音ヲ用或ハ衛ノ字ノ省文

○

○

○

也トモ云リ衛ノ字五ニ從フ処ト

ニテ吳音ヲ用或ハ衛ノ字ノ省文

也トモ云リ衛ノ字五ニ從フ処ト

其音共ニ相似タリト云トモ万葉

倭名等ニ多ハ惠ノ字ヲ用タレハ

前説ヲヨレトスヘシ

○和字正濫抄云本朝古書多慧作慧

○伴呂波字考録云鳶信ハ惠ノ字ヲ

取トス吉備公真蹟ノ經ノ切ヲ取

持ス智慧光明ト有

○遠之部

○大觀抄云「ハ一説ニ我國古ハ慧」

ノ字ヲ慧ニ作レリ其中ヲ取タル

也ト云私ニ按ニ恵ノ字ナラン

○日本紀通證慧省文吳音古書慧作

慧

○澤元愷云「或云破恵字或云慧字此

際多作慧取其中畫

○と

已上
秋款
古
今
秋款

不(不)不(不)不

、

遠

之吳音也。廣韻：雲阮切。集韻：會兩阮切。並爰上聲。

遠

孝

孝 孝 孝

かく
を

越

ハ

越

之吳音也 **廣韻** **集韻**
韻會 並王伐切 音粵 越

越

越

明也

55

ハ

乎

韻之吳音也廣韻戶吳切並音孤切並音

湖

年

平

字

子

くわの
たれぬ

人 里古

5

3

と松の書くるを片
假字のなれとて

月樓藏



月樓源真澄先生著

假字考補闕

本朝書話

本朝墨帖論

假字類叢

假字類辨

連假字格

素本所 麦秋雪

江戸漢字新考所



国立国語研究所



1001090180